

なよろ



名寄市観光キャラクター
「なよろう」



<http://www.city.nayoro.lg.jp/assembly/>

令和7年
第1回定例会

第 **76** 号

令和7年5月1日
発行

特集

- 令和7年度予算審査 2～3
- 委員会付託審査 報告 5
- きぼう（須釜 弘美さん、渡辺 和美さん） 16

6/16～ 第2回定例会予定

題字 風連中学校 ^{に っ た あ つ き} 新田 篤絆さん

一般会計 総務費

広報アドバイザー業務委託料の内容は？



秘書広報課長

地域力創造アドバイザー制度を活用し、専門家を招き広報誌のリニューアル、SNSの強化などすべての媒体にかかわる。

一般会計 商工費

ピヤシリスキー場ツリーランエリアの整備計画は？



産業振興課長

R4 から始まったツリーランエリアは外国人を中心に利用者が増加。来シーズンは4コースに増やす予定で圧雪車も更新予定。

一般会計 総務費

市民サービスオンライン化事業の最終目標は？



デジタル推進担当参事

時間や場所を気にせず行政手続きをパソコン・スマホで完結できる「手のひら市役所」を目指す。

一般会計 土木費

公園の樹木の管理や水遊び場の維持補修の内容は？



都市整備課管理係長

名寄公園では倒木の危険がある30本を伐採、382本を点検した。

一般会計 商工費

物価高騰支援対策でヨロカポイントを1世帯7,000ポイント付与の時期は？



産業振興課主査

5月中に全世帯に郵送で通知し6月からの1か月で給付を行う。広報、市ホームページで周知を行う。



都市整備課長

水漏れ、ポンプ破損が原因で修繕に多額の費用が掛かる。需要度などを把握し復活させるかを含め検討したい。



質疑のやり取りは一部です。全議員による予算審査特別委員会では、付託された予算についてここに掲載した質疑を含め4日間で85件の質疑が行われました。

予算審査

一般会計 消防費

災害対策備蓄事業費の備蓄食料の状況と更新は？



防災担当主査

13,400 食を備蓄。消費期限の近いものを防災訓練などで配布し、年間 4,600 食を購入予定。R 9 年度に 18,000 食を備蓄見込み。

一般会計 教育費

心の教室相談員について教育相談センターに配置替えとなるが、今後は？



教育相談センター所長

出勤場所はセンターとなるが、その後は従来どおり学校の相談室で業務を行う。

一般会計 教育費

東中学校の移転後の跡地利用予定は？



特命課題担当参事

跡地予定は決まっていない。また、光凌キャンパスの東中が使用しない部分は道教委の管理となる。

病院事業会計

一時借入金の限度額が 15 億円から 20 億円にしているが要因は何か？



病院事務部総務課長

収支の悪化などの理由で借入金が 14 億円に達した。事業の安定には必要である。

一般会計 教育費

部活動の拠点校方式で学校間の移動が増加すると思うが対応は？



学校教育課長

タクシーやバスなど公共交通、自転車などを幅広く検討。長期休業期間は生徒自身での移動も視野。

事業費用が前年当初予算比で約 10 億円増加しているが今後の収益増の考えは？



病院事務部長

人件費や水道光熱費などが費用増加の要因。患者数と単価アップに取り組み、職員一人ひとり経営改善に向けた。

予算編成の概要を問う 総括質疑

総合計画の総仕上げへ

予算編成のポイント3つ

Q 予算編成における市長訓令では、総合計画の具現化、心豊かに住み続けられるまちづくり、持続可能で健全な財政運営の3点が示された。どのように反映するのか。

A ①総合計画の具現化・・・総合計画の基本目標に沿った事業を行う。行政情報発信の強化や地域の特性を活かした中小企業の育成、中学校改築や空調設置による教育環境の整備などを通し、具現化を図りたい。

②心豊かに住み続けられるまちづくり・・・高齢化や人口減少は本市の活力に大きな影響を及ぼすことから、子ども子育て政策やDXの推進など事業の継続発展に取り組む。

③持続可能で健全な財政運営・・・健全な財政運営の維持に向け、経費の節減やふるさと納税の推進による歳入の確保を行う。

事業の選択と集中へ

Q 次期総合計画に向け、どのような1年とするのか。

A 総合計画は着実に具現化してきているが財政的に厳しい状況。職員一丸となって行財政改革に取り組む。

状況を市民の皆様理解いただきながら、10年先を展望し邁進したい。

【令和7年度 歳出】

290億2,659万円



まちの発展は健全な財政から



市政クラブ

いま さら よし ひこ
今村 芳彦 議員

持続可能で健全な財政運営を

基金と市債の考え方

Q 少子高齢化や人口減少が進むなか、過去最大の予算額が示された。持続可能で健全な財政運営に向けた基金の繰入れと市債発行の考え方について伺う。

A 災害時の急激な財政出動への備えや公債費負担の平準化を目指し、一定の基金残高の確保が必要。財政規律として財政調整基金と減債基金を合わせた下限額を15億円としている。新年度の基金繰入額を前年度比約4億円減の約21億円とした。令和7年度当初予算を反映した基金残高は財政調整基金約12億円、減債基金約13億円。合計で財政規律の15億円以上を守っているが、建設事業の財源対策として、前年度を大きく上回る約50億円の市債発行を決断した。

財政規律超過を決断

Q 「返す以上に借りない」としていた財政規律を超過する決断に至った経緯は。

A 名寄東中学校改修がポイント。先送りするより交付税措置が7割と非常に高い合併特例債（令和7年度が期限）を活用する決断をした。



市民ネット

やま ざき ま ゆ み
山崎 真由美 議員

【基金】
ある目的のために積み立てるお金
【市債】
公共施設の整備などの建設事業を行うために必要な資金を国や銀行などから借りるお金

ひとくちメモ

定例会

補正 予算

地域づくり総台交付金事業費

補正額 9,530 万円

道北なよろ農業協同組合が実施する穀類乾燥調製貯蔵施設整備増強工事と上川ライスターミナル株式会社が実施する色彩選別機増強整備及びパレタイザー新設工事に対し、それぞれ北海道の地域づくり創造交付金が採択されたため、9,530 万円を追加しました。

今回の主な補正は、年度末にあたり事業の確定に伴う事業費や人件費などの調整、また各収支を見通し、必要な調整を行いました。

条例

名寄市教育相談センター条例の

一部改正

文部科学省において令和5年3月に策定した「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」を踏まえ、令和7年度から適応指導教室を教育支援センターに改称し、教育相談体制の機能強化など不登校対策の一層の充実に取り組むため、条例の一部を改正しました。



定例会の概要

- ▼ 第1回定例会が2月27日から3月18日までの20日間の会期で開かれました。その間、令和7年度予算審査も行われました。
- ▼ 加藤市長から令和7年度市政執行方針、岸教育長から令和7年度教育行政執行方針が述べられました。
- ▼ 定例会では、2会派から代表質問と8名の議員が一般質問を行いました。
- ▼ 経済建設常任委員会付託議案『名寄市ビヤシリースキー場条例の一部改正について』、『名寄市水道事業給水条例の一部改正について』の2件が委員長報告のとおり原案可決しました。

令和7年 第1回臨時会

令和7年1月20日

令和6年度名寄市一般会計補正予算（第9号）について審議し、原案のとおり可決しました。

主な内容

- ・燃料や食料品価格など、物価高騰の負担感が大きい低所得者世帯への負担の軽減を図るため、1億5,050万円を追加しました。
- ・ふるさと納税寄附金の増加に伴い、寄附記念品発送業務委託料4,000万円を追加しました。



経済建設常任委員会付託議案 委員長報告

水道料金平均 18.35%の値上げ

名寄市水道事業
給水条例の
一部改正について

令和6年第4回定例会に付託された議案第25号「名寄市水道事業給水条例の一部改正について」担当議員の出席を求め3回にわたって慎重に審査を行いました。「生活弱者対策や負担緩和を念頭に、口径に関係なく基本水量5t化を検討した。また市民周知の時間を確保し、10月からの改定とした。今後の工事費は浄水場で2億2千万円、工務課関連で2億円と精査したが、施設耐震化の予算は見込まれていない」等々の説明に対し、様々な観点から質疑と答弁が繰り返されました。

物価高騰や人件費高騰による料金改定の必要性や公の施設の使用料に関する認定基準の考え方、繁忙期・閑散期の営業カレンダーを踏まえた料金価格のシミュレーション等について慎重に審査を行った結果、名寄市ビヤシリースキー場条例第13条に係る宿泊利用料金を1万1千円（上限）へ改正することが可決されました。

結果、当委員会では全会一致で原案のとおり可決すべきものとして、令和7年第1回定例会に報告し、水道料金の平均18・35%の値上げが可決されました。

名寄市ビヤシリースキー場条例の
一部改正について

令和7年 第1回臨時会議決結果

議案番号	議 件 名	結 果
議案第1号	令和6年度名寄市一般会計補正予算（第9号）	原案可決

令和7年 第1回定例会議決結果

議案番号	議 件 名	結 果
令和6年第4回定例会 付託議案第4号	名寄市ピヤシリスキー場条例の一部改正について	原案可決
令和6年第4回定例会 付託議案第25号	名寄市水道事業給水条例の一部改正について	原案可決
議案第1号	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第2号	名寄市職員の定年引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第3号	名寄市手数料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	名寄市教育相談センター条例の一部改正について	原案可決
議案第5号	名寄市風連米乾燥調製施設条例の一部改正について	原案可決
議案第6号	削除	—
議案第7号	名寄市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第8号	令和6年度名寄市一般会計補正予算（第10号）	原案可決
議案第9号	令和6年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第10号	令和6年度名寄市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第11号	令和6年度名寄市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第12号	令和6年度名寄市立大学特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第13号	令和6年度名寄市病院事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第14号	令和6年度名寄市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第15号	令和6年度名寄市下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第16号	令和7年度名寄市一般会計予算	原案可決
議案第17号	令和7年度名寄市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第18号	令和7年度名寄市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第19号	令和7年度名寄市食肉センター事業特別会計予算	原案可決
議案第20号	令和7年度名寄市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第21号	令和7年度名寄市立大学特別会計予算	原案可決
議案第22号	令和7年度名寄市病院事業会計予算	原案可決
議案第23号	令和7年度名寄市水道事業会計予算	原案可決
議案第24号	令和7年度名寄市下水道事業会計予算	原案可決
議案第25号	名寄市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第26号	名寄市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第27号	名寄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第28号	名寄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第29号	名寄市水道事業給水条例の一部改正について	原案可決

《賛否の分かれた議案》

※ ○（賛成） ×（反対） 欠（欠席） 退（退席）

議案番号	議 件 名	議員名	市民ネット		市政クラブ						議	公	共	市	な	
			山崎真由美	倉澤宏	高野美枝子	水間健詞	谷聡	今村芳彦	清水一夫	遠藤隆男	東川孝義	東千春	山田典幸	高橋伸典	川村幸栄	佐藤靖
議案第16号	令和7年度名寄市一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第17号	令和7年度名寄市国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第23号	令和7年度名寄市水道事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

※公（公明） 共（日本共産党） 市（市民の声） な（共生なよろ） 議（議長） ※議長は表決に加わりません。

意見書

持続可能な学校の実現をめざす意見書

代表質問①

代表質問とは…

会派を代表して行う質問のこと。名寄市では通常、第1回定例会で行われますが、改選等により市長が就任した場合は市長就任後、初となる定例会で行われます。

夢あるまちづくりを

Q 新年度の重点施策は
新年度における新規事業を含めた重点施策について伺う。

A 名寄中学校整備事業、一般廃棄物中間処理施設建設事業の負担金、名寄東中学校整備事業、小中学校の空調設置工事、子ども子育て施策の充実に向けた事業の展開や市民サービスオンライン化事業によるDXの推進など、将来にわたって住み続けられるまちづくりを目指していく。

複合施設の建設用途は

Q コンパクトなまちづくりの推進で候補地は示されているが、整備目標年度及び具体的なグラントデザインについて伺う。

A 再配置計画にずれが生じており内容、期間を改めて検討するが、施設整備は重要な課題と考えている。人口減に耐える持続可能でコンパクトなまちづくりを進めていくために、「株式会社まちづくり名寄」と連携し、令和7年度前半にはビジョンを示し、議



市政クラブ
ひがしかわ 孝義 議員

論を活性化させたい。

Q ヨロカの運用と課題は
運用開始から1年が経過したヨロカの利用促進に向け、成果と課題について伺う。

A ヨロカの利用金額はマネー利用、ポイントを含めて令和7年1月末で5億5千万円相当額が市内で循環されている。今後も関係団体との連携を強化し、事業・販促事業などの各種取り組みを展開していく。

Q 名寄市立大学のあり方は
少子化が急速に進むなか、大学の特色と魅力を活かし学生から選ばれる大学として、在り方検討委員会での議論経過と今後について伺う。



学生から選ばれる大学を目指したスピード感のある議論を

A これまでの委員会の中で深堀りの意見が出たことから、法人化のメリット・デメリットを含め、設置・運営形態について令和7年度中に一定の方向、結論を出すことを目指していく。

【他の質問】
人材確保・育成の取り組みについて、王子マテリア跡地活用に向けて、教育行政について

代表質問②

代表質問は…

発言順序は多数会派から少数会派の順に行います。制限時間は質問答弁を含め、2時間以内としています。

夢と希望が持てる名寄市

Q 今後の財政展望
一般会計予算額は過去最大規模の約2

A 平和が一番
平和憲法の基本姿勢を明確にし、非核平和都市宣言を着実に推進する考えについて。
非核三原則を堅持し「非核平和都市宣言」に計り核兵器の廃絶と恒久平和を考える機会を提供してきた。戦後80年の今年は「ヒロシマ平和学習受け入れプログラム」に中学生が参加予定。

Q 平和が一番
平和憲法の基本姿勢を明確にし、非核平和都市宣言を着実に推進する考えについて。
84億円で前年比約41億円増。要因となった事業の議論経過と今後の財政について。
A 名寄東中学校の改修工事は国の補助金が見込めず一般財源のみ。市債発行額が市の財政規律を超過する難しい判断だったが、未耐震校舎をなくし子どもの安全安心を第一とし、産業高校の閉校を考慮し改修すべきと判断。基金残高や公債費の状況から厳しい財政状況のため、財政規



市民ネット
たかの みえこ
高野 美枝子 議員

律の見直し、行財政改革を進める。
Q 地域医療の充実
移転構想検討中の名寄東病院の進捗状況について。
A 地域医療構想や地域の医療ニーズを考慮しダウンサイジング放射線や検査など医療資源の共用によるコスト削減、市立病院の混雑緩和を目的としたが医療法上の制約や敷地面積不足、概算事業費の高騰等課題が明らかになり、整備計画を再検討する。
Q 不登校対策について
不登校対応について伺う。
A 全国と同様に増加傾向。やる気が出ない、生活リズムの不調、友人関係等が要



老朽化した東病院。移転か改修か？

因。適応指導教室を教育相談支援センターに名称変更。従来体制を強化するため、アウトリーチ型支援の充実を図る。
不登校兆候の早期段階で児童生徒が校内で心を落ち着かせ、安心して学べる場所等を整えていきたい。
【他の質問】
市民主体のまちづくり、高齢者福祉、大
学教育の充実 他

災害に備えて安全・安心を

Q 令和6年度市防災訓練の評価と反省を踏まえて、新年度以降の防災訓練をどのように行うのか伺う。

A 新年度に市民参加型の防災事業を計画している。イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。

Q 令和6年度市防災訓練の評価と反省を踏まえて、新年度以降の防災訓練をどのように行うのか伺う。

A 新年度に市民参加型の防災事業を計画している。イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。

Q 令和6年度市防災訓練の評価と反省を踏まえて、新年度以降の防災訓練をどのように行うのか伺う。

A 新年度に市民参加型の防災事業を計画している。イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。



名寄市ハザードマップ

市防災訓練について

令和6年度市防災訓練の評価と反省を踏まえて、新年度以降の防災訓練をどのように行うのか伺う。

連携して計画の作成に努める。

災害廃棄物処理計画について

過去に何回か質問したが、いまだに未作成であるが、計画はどのようなものになるのか伺う。

新年度に市民参加型の防災事業を計画している。

イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。

新年度に市民参加型の防災事業を計画している。

イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。

新年度に市民参加型の防災事業を計画している。

イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。

新年度に市民参加型の防災事業を計画している。

イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。

新年度に市民参加型の防災事業を計画している。

イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。

新年度に市民参加型の防災事業を計画している。

イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。

新年度に市民参加型の防災事業を計画している。

イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。

新年度に市民参加型の防災事業を計画している。

イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。



市政クラブ
しみず かずお 議員
清水 一夫



連携して計画の作成に努める。

災害廃棄物処理計画について

過去に何回か質問したが、いまだに未作成であるが、計画はどのようなものになるのか伺う。

新年度に市民参加型の防災事業を計画している。

イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。

新年度に市民参加型の防災事業を計画している。

イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。

新年度に市民参加型の防災事業を計画している。

イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。

新年度に市民参加型の防災事業を計画している。

イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。

新年度に市民参加型の防災事業を計画している。

イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。

新年度に市民参加型の防災事業を計画している。

イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。

新年度に市民参加型の防災事業を計画している。

イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。

新年度に市民参加型の防災事業を計画している。

イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。

新年度に市民参加型の防災事業を計画している。

イベント形式の防災教室と避難所開設・受け入れと避難訓練を検討している。

住みつづけたいまちづくり

2040年問題について

人口減少や労働力減少などによる本市への影響と対策について伺う。

2040年の人口推計は19,712人であり、2020年に比べ約28%の減少が予想され、ビジョン推計よりも人口減少が急速に進んでいる。対策として、名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、国の地方創生関係交付金や企業版ふるさと納税を活用した取り組み、外国人材や地域おこし協力隊による人手不足や地域振興対策、



「住み慣れた地域で住み続けられる」支援・対策を

電子地域通貨ヨロカによる地域経済活性化、デジタル技術を活用したA-オンデマンドバスの運行、王子マテリア名寄工場跡地への新たな産業誘致による雇用の創出など、地域の将来を見据えた事業を推進し、安心して暮らせるまちを目指す。地域の資源を最大限に活かして、人口の自然減と社会減対策を進め、将来にわたって自律的で持続的な地域社会の実現を目指す。

【他の質問】障がい者福祉の推進について



市政クラブ
えん どう 議員
遠藤 隆男



行政手続きのデジタル化を



公明
たかし 高橋
しんすけ 伸典 議員



オンライン申請の推進を

Q 国のマイナポータルの「びったりサービス」の活用と子育て応援アプリの導入を。

A 提供している33手

続きのうち転入転出関係、罹災証明書関係、子育て・介護関係の手続きを令和5年に開始し、転出届81件、転入は2件の利用。利用が多い手続きはラインやホームページを活用して行政サービスを受けられるオンライン手続きのプラットフォームを構築するため、令和7年度予算に市民サービスオ

オンライン化事業を盛り込んだ。国の母子手帳のデジタル化、

応援アプリの活用、子育てサービスのあり方の情報を注視する。

安心して授乳できる環境を

Q 安心して授乳・搾乳できる公共施設の環境整備と周知について。



子育て世帯が安心して授乳・搾乳できる公共施設の環境整備を

A 登録施設は公共施設で5、民間施設で3ありスマートフォンで検索できる。未

登録の公共施設では令和5年度に設置状況調査を行った。授乳室を設置している施設では市で統一した表示板を掲示している。授乳室のない施設では空き部屋を案内し対応。

空港を拠点とした観光振興を



市民ネット
くらさわ ひろし
倉澤 宏 議員



空港からの二次交通の整備を

Q 上川北部への観光誘客を図るため旭川空港から本市への直行バスの運行が効果的と考えるが。

A インバウンドも増加傾向にあることから上川北部9市町村で構成される道北観光連盟に提案し、可能性について調査研究していく。

究していく。

Q 空港からの二次交通の整備はインバウンド、国内観光客の誘客はもとより、この地域活性化にもつながる。直行バスの実証運転からでもスタートできないか。

A インバウンドの状況も劇的に変化しており、タイミングを見計らい広域観光団体での取り組みを提起していく。

Q 公設法律事務所の再設置へ

A 昨年7月に市内公設法律事務所が閉鎖、市民の法律相談の受け皿がなくなった。閉鎖後の再設置に向けて

昨年7月に市内公設法律事務所が閉鎖、市民の法律相談の受け皿がなくなった。閉鎖後の再設置に向けて



就航路線が拡大され利用者増が期待される旭川空港

A 昨年6月の閉鎖後の意向を受けた際にも再設置への陳情活動と日弁連への申入れの意思を伝えた。3月下旬に旭川弁護士会が再度訪れるので再設置に向けた話が聞けると考えている。今後の対応に向けてしっかりと議論を交わしていきたい。

鉄道資源の有効活用について

Q 令和7年度に宗谷本線でサイクルトレインの実証運行

サイクルトレインの実証運行

A 現在キマロキ保存会で検討中だが、開会式でのもちまき、ミニSL蒸気機関車の乗車体験、写真コンテスト、キマロキ清掃体験、キマロキグッズの作成などを予定している。SNSも活用し発信したい。



大切に保存されるキマロキ
冬季はシートで覆われる

A 宗谷本線で初めての試みであり、まずは事前申込の団体列車の運行を予定している。自転車解体せずそのまま車内に持ち込み、利用者自身で固定してもらう。具体的な運行ルートや時期については、関係機関との調整で

【他の質問】
中教審答申に照らし、
た名寄市立大学の現在

Q キマロキ展示保存50年
本年7月19日から21日まで「キマロキまつり」が開催されるが、その内容は、全国に向けた広報をお願いしたいが。

A インが実証運行されるが、期間と方法は、

Q 今後決定される。
A 自転車道などの環境整備は。

A 今回の実証運行では予定していないが、対応が必要な状況になれば国や道との連携が必要になる。



共生なよろ
なか はた 中島 孝幸 議員



市立総合病院の収支状況

A 要因として患者数減少や人件費、各種経費の高騰に診療報酬額の改定が追い付いていないことが挙げられる。経営改善に特効薬はないが、基本に立ち返り診療

Q 今年度の赤字見込みについて

A 約9億円の赤字見込みとのことだが、過去にこのような赤字決算はあったか。

A 地方公営企業法の改定により多額の引当金を計上した平成26年度を除き、例のない赤字となる。

Q 赤字の要因分析と赤字を解消するための方策は。

A 要因として患者数減少や人件費、各種経費の高騰に診療報酬額の改定が追い付いていないことが挙げられる。経営改善に特効薬はないが、基本に立ち返り診療

Q 協会の設立及び基本構想策定の時期は。

A 新たな協議会は国の補助制度のスケジュールなどに合わせ、関係機関や民間事業者と調

名寄IC拠点化構想について

報酬の取り漏れを防ぐ、患者数を増やし医療収益を上げるなど考えられる取り組みは全てやらなければならない。



名寄市立総合病院



市政クラブ
たに 谷 聡 議員



整し準備を進める。構想策定期間は新たな協議会で議論するが、高規格道路開通を見据え速やかに取り組む。

持続可能なスポーツと産業

部活動の地域移行

Q 2月上旬に保護者説明会が実施され各競技団体との交渉に取り組んでいると推察するが、課題などは。

A 部活動改革推進協議会を設置し課題などを把握したところ。課題・意見としては

- ①地域クラブの運営
主体や指導者活動場所、受け皿の確保。
- ②移動にかかる運行
財源の確保や指導者の報酬、活動場所の使用料の受益者負担等財源の確保、保護者の費用負担。

③スポーツ団体や少年団、学校、行政などによる情報共有の場、意見交換の場が必要。地域移行に向けた地域、学校、行政等の連携協力等。

Q スケジュールは。

A 令和7年夏から運動部活動を拠点校方式で活動場所を1つとし、地域移行に向けた準備を進める。令和8年夏からは休日の運動部活動を

行わない予定。部活動は平日の活動のみ。休日の活動は地域クラブ活動に参加。平日も地域クラブ活動として行える種目は、平日の部活動もなくなる予定。

【他の質問】

経営者の後継者対策について



スポーツ・文化活動に継続してかかわれる環境の確保を



市政クラブ

みづま けんじ 水間 健詞 議員



学生が主人公の名寄市立大学

名寄市立大学在り方検討委員会について

Q 市政執行方針で、適切な組織形態の検討、学生確保と地域への貢献をめざすと述べ、維持・発展に必要な経営形態等検討するために在り方検討委員会を設置し、令和7年度中に一定の方向・結論を出したいとしている。改めて設置の目的、意義について聞きたい。

A 今後さらなる少子化で大学進学者数も減少が見込まれる。名寄市立大学が市民にとって価値があり、学生から選ばれる大学として維持・発展

していくために学識経験者、大学の専門分野に関する有識者、市内関係団体の代表者などで構成する委員会を設置、議論いただいている。

Q 大学認証評価受審、大学院設置検討が進められているなか、市長部局に特命課題担当参事を設置するなど急いでいるように感じるが。

A 大学が策定した将来構想（2017～2026年度）にあり方の検討が盛り込まれているが、学内で議論がされていない。大学設置者として危機感を感じている。

【他の質問】

人権尊重と男女共同参画社会にかかわって



令和7年度名寄市立大学入学式



日本共産党

かわむら ゆきえ 川村 幸栄 議員



トピックス

燃やせるごみ	燃やせないごみ
●生ごみ類 ●油（食用・機械等） ●写真・手紙・伝票など ●紙くず・吸い殻 ●紙おむつ ●ペットのふん・シートなど ●衛生ごみ	●ガラス・陶磁器類 ●金属類 ●刃物類
●プラスチック製品 ●衣類・布 ●ゴム製品 ●革製品 ●木くず・木製品 ●花・剪定木・草類 ●貝類	指定ごみ袋に入らないものは「大型ごみ」

左図のように「ミ」の分別等が大きく変更となります。受入体制や料金などの詳細は市広報等を通じ、随時お知らせがあります。



施設愛称は今後公募する予定

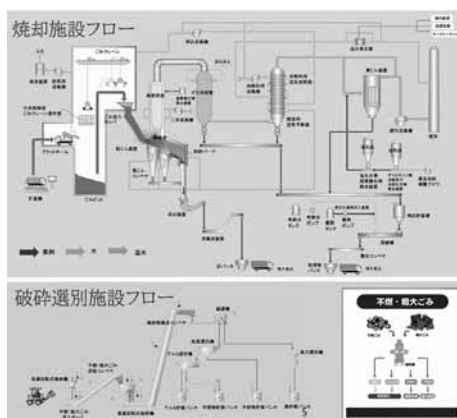
議員協議会

「一般廃棄物中間処理施設」って何？

（仮称）名寄地区一般廃棄物中間処理施設は令和9年4月からの運用を目指し、建設が進んでいます。（名寄地区衛生施設事務組合）

その他の議会活動

- 林活議連：地域材の利用促進に向けた勉強会
- 議員会新年研修会：演題「世界情勢と日本、地域を振興していくということ」
講師：名寄市総合政策部交流推進課 藤井 智 氏
- 議員協議会：まち・ひと・しごと創生総合戦略の改正について



＜施設フロー図＞

これまで埋め立てていた不燃・粗大ゴミを破碎し、焼却処理を可能とする施設です。これにより、最終処分場の大幅な延命が図られます。

次の定例会開会予定は…

6月16日(月)～6月25日(水)です

※この日程は変更になる場合がありますのでご確認のうえ、市役所4階の議場までお越しください。

たくさんの方の傍聴をお待ちしています。

※議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機をご用意しています。

【お問い合わせ】

議会事務局 ☎③ 2111

(内線 3425・3426)

議会を代表して
活動報告をお届けします

進めてまいります。

議会としての役割を果たせるよう、引き続き議員の意識と行動の改革、資質の向上を目指して取り組みを進めてまいります。

今定例会では、代表質問に2会派、一般質問に8名の議員が登壇しました。全体的には、議員の質問の意図が適切に執行者側に伝わったうえで議論へと概ね改善されてきていると感じた一方で、情報収集、調査の不足により、説得力・訴求力に欠ける質問も散見されました。



やま だ のり ゆき 山田 典幸 議長

常任委員会活動

2年間のまとめ

より活発で多様な意見を施策に反映し、市民福祉の向上に資する常任委員会の運営を行うため、5月1日より3常任委員会から2常任委員会に移行します。



総務文教 常任委員会

テーマ

「複合施設のあり方について」

活動内容

- 複合施設のあり方について、道内外の行政視察と対象施設の確認等を行い進めてきました。

現状の課題

- 名寄市における公共施設等の約半数が30年以上を経過しています。
- 公共施設再配置に向けて人口減少、財政基盤の確保など、官民連携での取り組みが重要です。
- 街なかへの複合施設整備に向けて、敷地確保など課題も多くあります。

今後に向けて

- 複合施設はコンセプトを明確にし、将来を見据えた再配置が重要です。

- アクセスしやすい場所に立地して、複合的な機能を持ち、人の流れを呼び込む施設が必要です。

- 優先整備候補地を含め、株式会社まちづくり名寄と連携しながら、早期に一定のイメージが描ける施策推進が必要です。
- 計画に対する市民を巻き込んだ議論を、積極的に推進します。



小清水町庁舎内に併設された、平常時・非常に利用できるコインランドリー

市民福祉 常任委員会

テーマ

「空き家対策について」

活動内容

- 空き家の推移、実態と傾向、名寄市の空き家の状況、空き家対策、空き家対策特別措置法、財産管理制度、発生抑制、補助の利用促進・除却の促進などについて研修しました。

- 名寄市内4か所の廃墟空き家の現地状況調査を行いました。

- 空き家対策について、道内外での行政視察を行い、研修しました。

現状の課題

- 居住環境の維持・向上を図るためには、市街地の管理



空き家の現地状況調査

不全空き家に対し、国の補助金を含めた空き家等解体助成事業を活用し、解決することが課題です。

今後に向けて

- 安心して住み続けることができるよう、空き家除却に関する事業、空き家を円滑な活用に向けた事業、空き家の発生を抑制する事業等を推進します。
- 持続可能な「まちづくり」を目指し、さらなる調査・研究を進めます。

経済建設 常任委員会

テーマ

「基幹産業である農業に着目した産業振興について」

活動内容

- ▼JA道北なよろ農業協同組合をはじめとする関係団体及び行政担当者との意見交換を行いました。
- ▼市外先進地における視察及び市内施設での状況確認を行いました。

現状の課題

- 人手不足の解消や後継者の育成
- 農産物流通の手段
- 有害鳥獣被害の対策

今後に向けて

- ▼人手不足解消を目指す農福



多くの作物を生み出す名寄市の豊かな農地

連携では、障がい者を単に労働力と見るのではなく、農業者自身が障がい者の視点と着想を得て、ともに働きながら生産性・収益性を上げ、持続可能な農業を目指し、さらなる調査・研究を進めます。

- ▼流通においては、北・北海道中央圏域定住自立圏構想と道北地域市町村の基幹産業を結んだ広域連携を一層進めていくことが大切です。



議会日誌 (2月～4月まで)

名寄市議会（本会議）	6日	市民福祉常任委員会	1回
議会運営委員会	5回	経済建設常任委員会	1回
議員協議会	2回	議会報特別委員会	2回
総務文教常任委員会	1回		

詳しい議会活動は、議会ホームページでご覧いただけます



名寄市議会ホームページ

きぼう



カヌーを通して天塩川

須釜 弘美

約 30 年前に同僚から手作りでカヌーを造らないかとの誘いがあり、ナヨロカヌークラブに入会。不器用ながらも作成して、休日は仲間と練習を兼ねて川下りを楽しんでいました。

現在は北海道遺産「北の大河・天塩川」で実施しているダウン・ザ・テッシ・オ・ペツ（天塩川リバーツーリング）の実行委員として参加し、流域市町村のクラブ員の仲間達、道内外、国外からの参加者も増えるなか、地域の情報発信や交流を深めています。天塩川でのカヌーツーリングは、太古より変わらない自然を水面からの視線で四季折々の風景、水鳥や動物の他、秋には遡上する鮭の姿などが見られ、下るたびに違った感動があり川の語源、川の中の岩の連なる「テッシ」や浅瀬、急流と変化に富んだ魅力一杯の川です。皆様もカヌーを通じて天塩川の大自然を楽しみませんか。クラブ員募集中です。



歳はとりたくない

渡辺 和美

先日、所用で旭川へ行く途中に道央道塩狩峠付近で、前を走っていたタンクローリーが中央分離帯の雪山に突っ込み、ジャックナイフ状態となって走行車線を完全にふさいでしまいました。幸い怪我人などはいなかったものの、一般道へ脱出するまで 2 時間以上缶詰状態となりました。中には引越しの最中で、あと 3 時間で帯広に着かなければと困っている人もいましたが、それでも事故処理中の関係者に文句も言わず待ち続ける姿に、北海道の人はみんなおらかなのだなあと、しみじみ感じました。

さて本題ですが、その時にパトカーの先導で高速道路上での逆走を初めて体験しましたが、標識類がすべて逆向きになっていて、これにはすぐに気づくだろうと思いました。しかし、この違和感を感じなくなるのが高齢者なんだろう・・・10 年後、私は大丈夫だろうか。

表紙の写真は「名寄中学校美術部」です。

私たち名寄中学校美術部は現在 24 名で創作活動をしています。普段は月別課題イラストに取り組み、画力の向上を図っています。夏休みは風連陶芸センターでマグカップを作ったり、サンピラー公園のひまわり畑で写真撮影会をするなど地元の施設を利用しています。また年 2 回旭川美術館に鑑賞に行っています。和気あいあいと活動しています。



編集後記

一気に雪解けが進み、春の気配が強くなってきました。令和 7 年度の予算審査を含む、令和 7 年第 1 回定例会が閉会しましたので、審査状況等お知らせいたします。▼議員の任期も折り返しとなりました。議会だよりもみなさんから寄せられた「読みたくなる議会だよりを」の声を指針に先進地の議会だよりをお手本とし、新人議員の感性も大切にしながら編集に取り組みできました。ご近所や職場などで話題にしていたら、大変うれしいのですが、いかがでしょうか▼引き続き文字は少なめに、空間の活用と写真の活用でより見やすい紙面になるよう取り組んでいきます。みなさんの感想等お寄せください。

議会報特別委員会

委員長 川村 幸栄

